

はじめに

本市では、平成 23 年に将来ビジョンである基本構想に掲げた「将来都市像」や「目指すまちの姿」の実現を目指し、市民のみなさんと行政の連携のもとに「第 5 次総合計画」を策定しました。その 6 つの柱のひとつとして「人・自然・地球みんなで環境を大切にすまち」をタイトルに「地球と人にやさしい持続可能なまちづくり」を目指しています。

この「第 5 次総合計画」をうけ、みどりと環境が密接な関係にあることから、このたびの「多摩すみどりの基本計画」と「多摩すみ環境基本計画」の策定にあたり、みどりの審議会と環境審議会を統合し、「みどりと環境審議会」として「みどりと環境基本計画」を策定いたしました。

両計画は前回策定から 10 年余が経過しましたが、この間においても、私たちを取り巻く環境は目まぐるしく変化してきました。ここ数年で見られる記録的な集中豪雨や真夏の気温上昇をはじめとした異常気象など、私たちの日々の生活や農業などの生産活動、さらには生態系などの自然環境に甚大な影響を与える環境問題が増えてきています。こうした問題は、進行する地球温暖化が影響しているものと見られており、私たちは、地球環境そのものを考えつつ、個々の問題に対応していかなければなりません。

また、平成 23 年 3 月に起きた東日本大震災は、あらためて私たちに自然の恐ろしさを知らしめると同時に、現代のエネルギー利用のあり方を考えさせることになりました。市民一人ひとりが、これまでのライフスタイルを見直し、節電・省エネをさらに進めるとともに、太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギーの推進を図っていく必要性が高まっています。

「多摩すみみどりと環境基本計画」では、「環境への負荷の少ない循環と調和を基調とした社会をみんなとともに創り継承していくこと」を基本理念に掲げ、今後 20 年で目指す長期目標を自然環境分野、生活環境分野、地球環境分野、環境情報分野の 4 つに分類し、計画の実現に向けて取り組んでいきます。特に自然環境分野では新たな本市のみどりのあり方を示す「みどりのルネッサンス」の考え方のもとに、施策を展開していきます。

このような環境に対する取組みは、誰かにお任せするのではなく、このまちの全員で本市の豊かな環境を守り、未来に引き継いでいくことが必要であると考えています。なお、本計画は社会経済情勢や環境を取り巻く状況の変化等に対応するため、5 年後の見直しを予定しています。

市民のみなさんには、是非、この計画を手にとってご覧いただき、自らが取り組めることを考えてみてください。私たち一人ひとりの取組みこそがこの地球環境、また、このまちのみどりを持続可能にしていくものと確信しています。

最後になりましたが、審議会や懇談会に参加していただいた委員の方々、パブリックコメントをいただいたの方々、説明会や傍聴にみえられたの方々等、この計画に携わられた皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。

平成 24 年 6 月

多摩市長 阿部 裕行